

鶴が丘中

地域一体となりあいさつ



これがイチオシ

部活に最適な「鶴中坂」

私たちの通う鶴が丘中学校の敷地内にある「鶴中坂」は、斜面が急で歩くだけでも、とてもきつい坂道です。トレーニングに最適で、部活動の練習の一環として主に陸上、テニス、卓球の各部が坂ダッシュをしています。学校の校庭に隣接する「松森城跡」は頂上から見る景色がとてもきれいです。春にはたくさんの桜が咲き、地域の人たちも桜を見に登っていきます。陸上部は鶴中坂だけでなく、冬にはこの松森城跡を目指し、みんなで坂ダッシュをしています。

学校名 仙台市立鶴が丘中学校
所在地 仙台市泉区鶴が丘2の1の1
創立 1982年
電話 022(373)1870
校長 洞口 乃
生徒 265人

鶴が丘中学校の生徒会執行部の活動として、鶴が丘地区で実施している多世代交流あいさつ運動に参加しました。小中学生や高校生、地域の方と朝の通学、通勤時間にあいさつをする取り組みです。泉松陵高校の生徒会役員の方が提案してくださり、人通りの多い交差点で、参加者が向かい合う形で行われました。幅広い世代で会話をしたり協力したりすることで、地域の交流をより深めることができました。実際に参加し、このよう



編集委員 倉持大河、工藤生成、安達楓夏、小野寺達哉、後藤里花（2年）
ハンゼン愛菜、相沢煌貴、逢坂柚乃、藤島星奈（1年）
指導教員 佐藤優

幅広い世代交流深める

わが校わがまち スクール通信



今回は
米川小（登米市）
沖野中（仙台市）

能登に元気と勇気届ける

山下二小

恩おくりプロジェクト

私たちの通う山下第二小学校は宮城県沿岸南部に位置する山元町にあります。全校児童139人と小規模ですが、児童同士の仲が良く、活発なあいさつが自慢です。東日本大震災の津波で大きな被害を受け、2016年に移転新築した校舎で毎日過ごしています。被災した校木のクロマツも移植され、昇降口前で今でも、私たちが見守っています。私たちは、昨年発生した能登半島地震や豪雨の被災地の方々に何とか元氣や勇気を届けることができました。



校外で募金活動をする児童ら

編集委員 若田羽琉、阿部諒太、齋藤陽向、菅野結衣、吉野綾人（6年）
指導教員 高橋文喜

これがイチオシ

タイヤ太鼓で「族」「舞」

山下第二小学校のイチオシは、「山下第二輪太鼓」です。東日本大震災で被災した方々を元気づけたいという思いから始まりました。「族」と「舞」の2曲があり、「族」は大草原を荒々しく駆け回るモンゴルの騎馬民族の様子を表現しています。「舞」は山元町の太鼓チーム風雲乱打舞代表の伊藤宏之さんやたくさんの先輩たちが作っていただきました。この2曲はタイヤに丈夫なテープを貼って作った「タイヤ太鼓」を使っているのが特徴です。

学校名 山元町立山下第二小学校
所在地 山元町つばめの杜1の3
創立 1920年
電話 0223(37)0072
校長 武田 義弘
児童 139人

テレビアニメ「ひみつのアイプリ」の2期「リング編」(テレビ東京系)の発表会に、6人組アイドルグループ「超ときめき♡宣伝部」(愛称とき宣)と俳優の斎藤なぎささんが登場しました。とき宣の「宣伝部長」辻野かなみさんは番組エンディング主題歌に新曲「ひみつのふふふ」が決定したと発表。新しい衣装を披露し、メンバーの杏ジュリアさんは「たくさんの人に愛されている作品なので、うれしい気持ちでいっぱいです」とシリーズが大好きという斎藤なぎさを弾ませました。

うれしい気持ちでいっぱい とき宣がアニメ「ひみつのアイプリ」主題歌



発表会に登場した(前列左から)斎藤さん、藤寺さん、平塚さん。後列は「超ときめき♡宣伝部」のメンバー＝東京都内

さんは、作品でアニメ声優に挑戦します。舞台となる「パラダイス学園」で図書室の司書「わこ先生」役を務めると明かす。先生は優しくおっとりとしたところも。秘密もありそうなおもしろいキャラクターなので楽しみにしてください」とアピールしました。

斎藤さんはさらに「私はとき宣さんの曲が大好きで、一番好きなのは『わがままプリンセス』です」と告白。「最上級にかわいいの!」など、とき宣の好きな曲を次々と挙げて菅田愛貴さんからメンバーを大喜びさせていました。

発表会にはW主人公の声優を務める藤寺美徳さん、平塚紗依さんも出席した。

本のプロ 推しの二冊

けものみちのにわ

水風紅美子 作
げみ 絵



不思議な体験通して成長

主人公の風花は、町外れにあるおじいちゃんの家遊びに行きます。その近くには「けものみち」と呼ばれる、近づいてはいけない道がありました。「人ならぬものを通る道」と言われるその道ですが、おじいちゃんは「不思議に会える神さまの道」と呼びます。怖くて不気味だけど、ちょっとわくわくするような場所。けものみちでの不思議な体験や、おじいちゃんとの関係を通じて、風花は

人間的に成長していきます。「誰かに傷つけられるのはつらいことだ。でも、自分が誰かを傷つけたことは、もっと忘れられない思い出になることがあるね」。友人関係に悩む風花に対し、おじいちゃんがかけた言葉には、昔の自分への後悔がありました。どこか切ないけれど、優しい気持ちにさせられる、心温まる1冊です。小学校中学年から。(宮城県図書館 鈴木泰河さん)